

【佐久穂町】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	50%	100%		
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	100%				
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	100%				
選択項目	学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	100%				
	1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	100%				
	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	100%				
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド環境の整備と運用コストの発生 ・教職員のデジタル技術に関する知識の向上 				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド環境の整備・運用するための予算確保 ・ICT支援員による日常的・継続的な操作研修 				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<p>オクレンジャーや校務支援システム等の導入により、職員会議等の資料や保護者への配布物、連絡等をペーパーレス化したことで業務の効率化に繋がった。</p>				